

九州大学マス・フォア・イノベーション卓越大学院プログラム
活動報告書

2022

Graduate Program of Mathematics for Innovation
Annual Report

Contents

2022

Annual Report

I はじめに	2
II プログラムについて	
1. プログラムの概要	3
2. プログラム学生	4
3. 連携先機関	4
4. プログラム担当者	5
プログラム責任者	
プログラムコーディネーター	
プログラム担当者	
5. 教育体制	7
6. サポート体制	9
経済的支援	
マルチメンター制度	
7. 国際連携	9
イリノイ大学とのマッチングファンド	
ラ・トロープ大学とのクロスアポイントメント	
8. 入試状況	10
III 活動記録	
1. 活動実績	11
2. 活動記録	12
3. 活動内容	13
除幕式／設置記念式典・シンポジウム	
Rabi and Spin Boson Models	
Numbers and Theorems	
卓越大学院プログラム プログラムオフィサー現地訪問	
卓越社会人博士課程制度	
Prelims	
Preliminary Thesis Exam	
英会話学習サポート	
マス・フォア・イノベーションカフェ	
マス・フォア・イノベーションセミナー	
学生満足度調査アンケート	
4. 広報活動	24
ホームページ改訂	
マス・フォア・イノベーション連係学府パンフレット	
ギャラリー	
その他	
IV 学生レポート等	
1. 数学共創・創発モデリング報告	28
2. 共創力強化インターンシップ報告	35
3. 研究活動成果	44
受賞記録	
論文発表	
学会発表	
4. Prelims Abstracts	48
5. Preliminary Thesis Exam Abstracts	85

I

はじめに

本冊子は、九州大学マス・フォア・イノベーション卓越大学院プログラムの令和4年度（2022年度）の活動状況と成果について概要を報告するものです。

マス・フォア・イノベーション卓越大学院プログラムは、文部科学省の「卓越大学院プログラム」事業に令和2年度に採択されました。令和3年度には、九州大学大学院数理学府、システム情報科学府、経済学府から第1期生を受け入れ、開始され、令和5年9月現在、第3期生が活動を始めています。

本プログラムの目的は、優れた数学力および統計力を基盤として、組織や分野の垣根を越え、数学モデリング力を活かして各分野で共創し、イノベーションを創発する卓越した数学博士人材を育成することです。この目的のため、本プログラムでは他分野や産業界との共創・創発を目指す「数学共創モデリング」や「共創力強化インターンシップ」など、様々なカリキュラム上の工夫やマルチメンター制度によるきめ細かい研究支援、手厚い経済支援など先進的な制度が提供されています。

本プログラムは修士・博士一貫の文理横断型学位プログラムとして構築・発展させることにより、九州大学さらには国全体の大学院改革を推進・先導することを目指しています。本プログラムを実施する教育組織は、九州大学大学院数理学府、システム情報科学府、経済学府が連係して設置するマス・フォア・イノベーション連係学府として、令和4年4月に発足しました。また、九州大学では石橋総長の下で教育的効果をより高めた教育プログラムの推進や新たな教育モデルの開発を進める未来人材育成機構を設置しましたが、本プログラムからはプログラムコーディネーターの佐伯教授が参画しています。

本プログラムの1年目である令和3年度は、コロナ禍の影響により講義やインターンシップ、対外的な活動などがオンラインに変更されるなど、一部が予定変更を余儀なくされました。しかし、現在は当初の計画に沿って順調に実施されています。本プログラムの実施には、連係協力学府だけでなく、産業界を含め九州大学内外の多くの関係者の協力が不可欠です。本冊子では、プログラムの現段階での実施状況を関係者に報告し共有することで、今後のプログラムの改善と発展に役立てたいと考えています。

2023年9月

九州大学大学院マス・フォア・イノベーション連係学府長
マス・フォア・イノベーション卓越大学院プログラム責任者
辻井 正人